

第3回 史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂保全整備検討委員会（視察）

視察日時	平成20年6月30日（月）	午前9時20分 開会	
		午後4時30分 閉会	
視察場所	難波宮史跡公園（大阪市中央区） 興福寺（奈良市登大路町） 平城宮跡（奈良市二条町）		
出席者	委 員 中尾 芳治(会長) 片山 秀雄(副会長) 三好 達男 五十棲正孝  オブザーバー (財)向日市埋蔵文化財センター 中島主任  事務局 文化財調査事務所 木下所長、渡辺課長補佐、秋田主任、高橋主任		
視察目的	<p>当委員会は歴史学・考古学の有識者と地元代表市民によって構成されているが、これまで2回開催された委員会を通じて「基壇」や「地覆石」など整備に関して専門用語について、地元市民代表委員から専門用語と実際の現地の仕様などについて具体的なイメージが得られないという声が寄せられていた。</p> <p>そこで、今回長岡京跡と同時代で朝堂院西第四堂と同様の性格を持ち、今後の整備計画に欠くことのできない難波宮跡、興福寺、平城京跡の先進整備事例地を委員とともに視察することにした。</p>		
視察内容	9:20～ 向日市役所 発 10:00～ 難波宮史跡公園（大阪市中央区） 当委員会 会長より現地説明		
	<ul style="list-style-type: none"><li>・調査及び保存経過について</li><li>・大極殿及び朝堂院の整備について</li><li>・前期難波宮と後期難波宮の復元表示手法について</li><li>・周辺景観及び難波宮の整備について</li></ul>		

・その他

13:00～ 興福寺（奈良市登大路町）境内整備地

興福寺境内管理室長より現地説明

- ・興福寺復元整備事業及び計画について
- ・発掘調査成果と整備工事について
- ・中金堂遺構の保存と建物復元について
- ・整備材料の選定について
- ・国の補助と整備委員会について
- ・その他

14:00～ 平城宮跡（奈良市二条町）

奈良文化財研究所 文化遺産部 整備研究室 研究員  
より現地説明

- ・平城宮跡の多様な整備手法について
- ・整備年代による整備手法の違いについて
- ・整備手法が研究材料であることについて
- ・整備後の維持管理について
- ・ガイダンス施設と案内板の役割について